

Junior High School

中学 2

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

年間学習計画

2020 Syllabus

	「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方	1
	教育課程と時程	2
	国 語	3
	社 会	11
	数 学	19
	理 科	27
	英 語	33
	保健体育	41
	音 楽	45
	美 術	51
	技術・家庭	55

[参考]

〈2020(令和2)年度入学生高等学校教育課程〉

「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方

「年間学習計画(シラバス)」には各教科の教育課程のほか「学習の目標」「学習の内容」「学習の進め方」「学習計画」が記されていて、中学1学年から高校1学年までの各学年ごとに配布されます。高校1年生の2学期には、高校2年生からの進路選択〈文系・理系・芸術系〉に関するガイダンスがあり、各教科の内容、単位数、必修選択授業などの説明があります。その説明をふまえて、それぞれが自分の希望する系に進むことになります。また、高校2年生の2学期には高校3年生からの各教科の内容、単位数、自由選択授業などの説明があり、それぞれの進路達成に向け、科目選択を行います。また、文系は国公立文系・私立文系の選択も行います。

◎本冊子により

- ・1年間、どのようなことを学習しようとしているのか。
- ・今、学んでいることが上級学年にどのようにつながっているのか。
- ・授業がどのように行われるのか。
- ・自宅学習はどのようにすればよいのか。

などがわかります。それらについては、担当の先生から随時説明がありますので、本冊子を有効に活用してください。また、「学習計画」を見ると次の定期考査までの授業の進捗がわかります。自分が勉強している項目を随時チェックして、定期考査への計画的な勉強に役立ててください。

なお、「学習計画」については、授業の進み具合や授業時数により、実際の進捗とは異なり、定期考査の範囲も変更になる場合があります。

◆ 2020年度 定期考査の日程

学期	考査名	期 間	考査名	期 間
1学期	第1回定期考査	5月22日～5月25日	第2回定期考査	7月4日～7月8日
2学期	第3回定期考査	10月20日～10月22日	第4回定期考査	12月9日～12月12日
3学期	第5回定期考査	3月5日～3月9日		

◇教育課程と時程◇

〈教育課程〉

教 科	学年 科目	授 業 時 数 (週)			
		1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	現 代 文	3	3	3	16
	古 典	2	3	2	
社 会	地 理	2	2	3	11
	歴 史 現 代 社 会	2	2		
数 学	代 数	3	3	3 3	16
	幾 何	2	2		
	数 学 I 数 学 A				
理 科	1 分 野]3	2	3	12
	2 分 野 生 物 基 礎		2	2	
保 健 体 育		3	3	3	9
音 楽		2	1	1	4
美 術		2	1	1	4
英 語	英 語	5	5	※5	19
	英 会 話	1	1	2	
技 術 ・ 家 庭		2	2	1	5
道 徳		1	1	1	3
総 合 的 な 学 習 の 時 間		2	2	2	6
特 別 活 動		1	1	1	3
合 計		36	36	36	108

*教育課程は変更することがあります。

*「総合的な学習の時間」は年間を通して週2時間相当の時数分を行います。

*中3の英語は Reading (3単位)と Grammar (2単位)に分けて行います。

〈時 程〉

	平 常	短 縮	定期考査
予 鈴	8 : 25	8 : 25	な し
朝 礼	8 : 30～	8 : 30～	9 : 15～
1 時 限	8 : 40～9 : 30	8 : 40～9 : 20	9 : 30～10 : 20
2 時 限	9 : 40～10 : 30	9 : 30～10 : 10	10 : 35～11 : 25
3 時 限	10 : 40～11 : 30	10 : 20～11 : 00	11 : 40～12 : 30
4 時 限	11 : 40～12 : 30	11 : 10～11 : 50	1 : 00～1 : 50
昼 休 み	12 : 30～1 : 20	11 : 50～12 : 30	
予 鈴	1 : 15	12 : 25	
5 時 限	1 : 20～2 : 10	12 : 30～1 : 10	
6 時 限	2 : 20～3 : 10	1 : 20～2 : 00	

国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

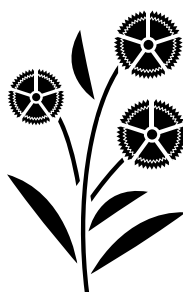
音楽

美術

技術・家庭

国語

Syllabus 年間学習計画



1. 学習の目標

- ・さまざまな種類の文章を読み、その内容や要旨を的確に理解したり、鑑賞したりする能力を高める。
- ・社会と自己との関わりを意識し、必要な材料を基にして自身の考えを論理的に書き表す能力を高める。
- ・自己の考えを論理的に組み立て、目的や場面に応じて的確に話す能力を高める。
- ・短歌の特徴を理解し、韻律を味わい主題を読み取るとともに短歌を創作する。
- ・漢字の学習を通し、正しい日本語の用法と多くの語彙を習得する。
- ・文法の学習を通し、正しい日本語の用法を習得する。
- ・古文の随筆・物語を通し、基本的な読解力を養うとともに、古文の読解に必要な用言の活用を学ぶ。
- ・書き下し文や返り点のほどこし方など、漢文訓読の基本と基本句形を繰り返し学ぶ。
- ・故事成語や論語を通し、中国古典と日本文化や日本人の生活との深い関わりを理解する。
- ・読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を養う。

2. 6力年の学習の内容

人間は「言葉」で考え生きるものであり、国語力は全教科の根幹となります。中1から高1までの4年間に、教科書のみならずさまざまな作品に触れることによって、より深い読解力、思考力、表現力を身につけることを目標としています。「現代文」については、適宜高校生向けのテキストを副教材として使い、難度の高い優れた文章を読むことで、読解力や思考力を更に伸ばせるようにしています。また、一方的に教わるだけでなく自ら探求する姿勢を身につけるために、図書館での資料収集やグループ学習の機会を設け、読書も奨励しています。「古典」の分野については、中1から百人一首をはじめ「古文」「漢文」を積極的に取り入れ、音読を重視しながら現代の国語につながる日本文化の礎を自然に感じることができるよう配慮しています。高1では、将来いずれの方面に進むにしても必要な内容を総合的に学びます。高2からは各自の進路に応じた授業を展開し、高3では問題演習を多く取り入れ大学入試に対応できる力を養います。また、新聞記事や各種評論文にも目を向けて幅広く知識を蓄え、小論文にも対応できる力を身につけられるよう工夫をしています。

3. 学習の進め方

予習を前提として授業を進めます。「現代文」では、扱う文章をあらかじめ読み、意味調べをし、新出の漢字をノートに書き出します。授業プリントがあらかじめ配付され、

段落の構成などを考える課題が課されることもあります。「書く」こと、「調べる」こと、「発表する」ことがより重視されます。また、年間20回以上漢字テストを行い、語句の意味を調べて正しく的確に使用できるようにします。その他、随時スピーチを行い、効果的な話し方と正しい聴き方を身につけます。

古文の予習は原文をノートに書き写し、古語辞典を使って古語の意味を調べ、口語訳をほどこします。漢文は原文をノートに書き写し、書き下し文にします。より古典に慣れるために、古文も漢文も音読を繰り返し行いましょう。

4. 学習計画（1）

教科	国語	科目	現代文	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『中学校 国語2』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『的確につかむ文法の学習』浜島書店 『漢検5級～2級 常用漢字の級別学習コンプリート 新装版』京都書房 『吉祥読本』吉祥女子中学・高等学校 『現代を読むはじめての評論文20選 改訂版』明治書院					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	「水の東西」 （『吉祥読本』より）	・日本の文化やものの考え方をとらえ直す。
	「日本人はなぜ靴をぬぐのか」 「人は独創的でありたいか」 （『はじめての評論文』より）	・日本の文化やものの考え方をとらえ直す。
5月	「サーカスの馬」	・表現に即して、人物の心情や人物像とその変化を読み取る。
	助動詞 【第1回定期考査】	
6月	「若者が文化を創造する」	・文化とは何か、文化の創出とは何かについて読み取り、自分の思考や表現に生かす。
	「使い捨て文明の行方」 （『吉祥読本』より）	・現代日本の抱える問題について考えを深める。
7月	「短歌十五首」	・短歌一首一首が何をどのように表現しているかを読み取る。
	助動詞 【第2回定期考査】	
1学期 予定時数 _____		

2 学期 9 月	「目撃者の眼」・「挨拶」	・報道写真とその写真を撮ったカメラマンの文章を通して、映像について関心を持つ。	
	10 月	「言葉のちぐはぐ」 (『はじめての評論文』より)	・言葉というものの持つ特性を理解する。
		「走れメロス」	・表現構造を把握し、作品把握を自覚的に行う。
		助詞 【第3回定期考査】	
	11 月	「花いちもんめ」	・作品の背景を理解し、社会のあり方や人間の生き方について考える。
		「近代文明とは何だったか」 (『はじめての評論文』より)	・近代における変化をとらえ、豊かさについて考える。
12 月	「災害と建築」 (『はじめての評論文』より)	・震災の経験を通じて、文明の意味を考える。	
2 学期 予定時数 _____	助詞 【第4回定期考査】		
3 学期 1 月	「セメント樽の中の手紙」 「春の日のかげり」 (『吉祥読本』より)	・表現に即して、人物の心情や人物像とその変化を読み取る。	
	2 月	「技術の正体」 (『はじめての評論文』より)	・思考の枠組みをとらえ直し、筆者の主張を把握する。
	3 月	「文学の仕事」 (『はじめての評論文』より)	・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。
3 学期 予定時数 _____	助動詞と助詞の確認 【第5回定期考査】		

*年間約20回漢字テストを行い、語句の意味を調べて正しく的確に漢字を使用できるようにする。

4. 学習計画（2）

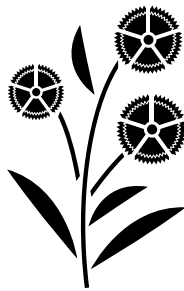
教科	国語	科目	古典	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『中学校 国語2』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『改訂版ビギナーズ古典（古文・漢文）』尚文出版 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版』桐原書店 『古典文法クリアノート』尚文出版 『ニューエイジ漢文 基礎1 新版二訂』第一学習社					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	『枕草子』 「春はあけぼの」 「うつくしきもの」 漢文訓読法の復習	・古文の基本的な読解力を身につける。
	古語辞典の引き方	
	『枕草子』「にくきもの」	・古文の基本的な読解力を身につける。
	形容詞・形容動詞 【第1回定期考査】	
6・7月	「螢雪の功」	・句形や訓読法を繰り返し学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。
	『平家物語』 「祇園精舎」 「敦盛の最期」 動詞①	・古文の基本的な読解力を身につける。 ・古文の敬語の種類・用法を学ぶ。
1学期 予定時数 _____	【第2回定期考査】	

2 学期 9・10 月	『徒然草』「つれづれなるままに」 「高名の木登り」 「猫また」 動詞②	・動詞の活用を繰り返し学びながら読解力を身につける。
	「漁夫の利」 【第3回定期考査】	・句形や訓読法を繰り返し学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。
11・12 月	動詞③ 『徒然草』「仁和寺にある法師」 「丹波に出雲といふ所あり」	・古文の敬語の種類・用法を学ぶ。
	「病膏盲に入る」 【第4回定期考査】	・句形や訓読法を繰り返し学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。
2 学期 予定時数 _____		
3 学期 1 月	『論語』 「虎の威を借る狐」	・句形や訓読法を繰り返し学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。
	『平家物語』「扇の的」 『伊勢物語』「東下り」 【第5回定期考査】	・用言の活用、敬語のまとめをする。
2・3 月 3 学期 予定時数 _____		

社 会

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈地理〉

中1に続き、世界各地の地理を学んだ後、私たちの暮らす日本の地理の学習に入ります。

中1の授業を通じて、地理の基本的知識が増し、地理的な考え方が身についてきたことで、ニュースがわかる、現代のさまざまなできごとや問題を以前より深く考えられるようになった、などの実感が湧いてきていることと思います。

中2ではさらに積極的に好奇心を持ち、筋道を立てて考えながら、今私たちの生きているこの地球上の各地の様子、問題やそのしくみについて理解を深めつつ、時には、いろいろな暮らしや考え方がある広い外の世界の側から自分の立場を考えることができる力を養っていきます。

〈歴史〉

中1に引き続き、日本の歴史を中心として、各時代ごとに背景となる世界の歴史にも触れながら、総合的な歴史像をつくりあげることを目指します。また、歴史学習を通じて社会的な視野を広げ、現代社会を柔軟で多様な視点からとらえられるようにすることも目標とします。

2. 6カ年の学習の内容

社会的な問題意識や理解、歴史的な思考力、資料の分析能力、ディベート・ディスカッションなどによる自己表現力、新聞・レポートの作成力など、単なる暗記ではなく、多岐にわたり生徒の能力を高めることを目標としています。中1・中2では「地理」と「歴史」を並行して学習しますが、基礎的レベルにとどまらず、発展的教材（地理）や独自プリント（歴史）などを用いて、高校の内容にまで踏み込んだ本格的な学習を進めていきます。また、中3では、高校「現代社会」の副教材を併用し、現代社会の課題、女性としての生き方、民主政治と人権思想などの分野を学習します。さらに、高校では、「歴史総合」、「地理総合」、「公共」を全員が履修し、さまざまな分野の知的蓄積を通して、現代社会の諸課題を多面的・多角的に分析・考察します。その上で、進路希望に応じて「日本史探究」や「世界史探究」などを選択して学習し、総合的な社会観の育成を目指します。高3では進路選択に応じて、大学入試レベルにも十分に対応した高度な水準の授業を展開します。

3. 学習の進め方

〈地理〉

① 授業

中1に引き続き、授業に必要なものをしっかりと準備し、資料や学習内容を自分なりに整理する習慣を身につけることが、学習の前提として非常に重要です。また、地理では覚えなければいけないことも確かに多くありますが、それ以前に大切なのは、好奇心を大いにふくらませ、自ら学ぶ姿勢を持って、筋道を立てて考え、理解することです。

授業中は、積極的に関心を持ち、疑問を抱き、メモを取り、自分の頭で考えるように心がけてください。

② 自宅学習

中1に引き続き、復習をしっかりと行ってください。

自宅での復習では、ノートを整理したり、白地図を活用したり、疑問に思ったことや興味のわいたことについて調べたりして、授業中に「理解した」ことを「定着させる」ことが大切です。

また、地理は今の世界や日本の様子や問題を学ぶ教科ですから、日々のニュースもテレビのドキュメンタリー番組も、駅構内のポスターも世界各地の写真も、もちろんみなさん自身の旅行や日常の体験も、すべてが地理学習の機会です。

ぜひどん欲に、さまざまな場でいろいろなものを吸収し、たくさん感じて、考えて、知識や考える力を伸ばし、視界を広げていきましょう。

〈歴史〉

① 授業

中1に引き続き、書き込み式の独自のプリントを用いて、講義を中心に授業が展開されます。また、副教材として使用する資料集は原典史料の多いものを使用し、歴史の基本である原典史料に立ち返ることを重視しています。

② 自宅学習

授業のあった日には教科書・資料集を用いて復習しましょう（復習の仕方については、初回の授業で説明があります。）さらに歴史に親しむために、学校の図書館などにある学習漫画や小説などを読むこともいいでしょう。また、日頃から歴史に関するニュースなどには関心を持ち、例えば旅行をする際には訪問先の歴史を事前に調べておくと、歴史的な関心や理解を深めることができます。

4. 学習計画（1）

教科	社会	科目	地理	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『中学生の地理』 帝国書院 『新編 中学校社会科地図』 帝国書院 『アドバンス中学地理資料 白地図ワーク付東京都版』 帝国書院					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	IV 世界の諸地域 6. ヨーロッパ	ヨーロッパでは、各地域の自然環境・産業・社会の特徴をつかむ一方で、EU（ヨーロッパ連合）のしくみや影響について学ぶ。
5月	7. ロシア 【第1回定期考査】	ロシアについては、旧ソ連崩壊にともなう変化を中心に、現在の産業や生活の様子を見ていく。
6月	8. 北アメリカ ①アメリカ合衆国 ②カナダ	アメリカ合衆国の社会の特質と多様性に焦点を当てつつ、世界に大きな影響力を持つアメリカ合衆国の産業について学ぶ。また、中3時の研修ツアーを見すえながら、カナダについても重点的に紹介する。
7月 1学期 予定時数 _____	9. 中南アメリカ 【第2回定期考査】	北アメリカとの違いに留意しつつ、中南アメリカの歴史や民族、産業の様子について、ブラジルを中心に学ぶ。

<p>2 学期 9 月</p> <p>10. オセアニア</p> <p>《日本地誌分野》 V 日本の自然環境</p> <p>1. 地形図を読む 2. 日本の位置と領土</p> <p>10 月</p> <p>3. 地形の特徴</p> <p>【第 3 回定期考査】</p> <p>11 月</p> <p>4. 気候の特徴と気候区分 5. 災害とその対処</p> <p>12 月</p> <p>VI 日本の産業</p> <p>1. 農林水産業</p> <p>2 学期 予定時数</p> <p>_____</p>	<p>オセアニアでは、日本との関わりに留意しながら、オーストラリアを中心に学び、世界の中の日本を意識させる。</p> <p>日本地理の分野では、それまでに学んだ世界地理の知識を踏まえ、世界との比較の中で日本の国土・産業・社会についてテーマごとに学ぶ。</p> <p>まず、地形図の読み取り方や統計の見方などを学び、地理に関する実践的な力を身につける。また、日本の位置や領土の広がり、地形の特徴を世界との比較の中で捉える。</p> <p>日本の気候の特徴を世界との比較の中で整理し、日本各地の気候区分について学ぶ。</p> <p>日本の農業の特徴を世界との比較の中で整理し、稲作・畑作・畜産・漁業・林業の各分野について、現在抱える課題を中心に、各地域の特色や動きにも触れながら学ぶ。</p>	
<p>3 学期 1 月</p> <p>2. 鉱工業 3. 商業と貿易 4. 交通と通信</p> <p>2 月</p> <p>VII 日本の産業</p> <p>1. 人口問題 2. 都市と農村の諸問題 3. 諸地域の文化や生活</p> <p>3 月</p> <p>4. 世界とのつながり</p> <p>3 学期 予定時数</p> <p>_____</p>	<p>日本の鉱工業、商業と貿易、交通と通信の各分野の特徴を世界との比較の中で整理し、それらの産業が現在抱える課題を中心に、各地域の特色や動きにも触れながら学ぶ。</p> <p>日本の人口問題を世界との比較の中で整理し、都市の過密化・農村の過疎化の現状とその対策について、具体例に触れながら学ぶ。また、日本の各地域の文化や生活の多様性を再確認させながら、日本と世界とのつながりについて学ぶ。</p>	<p>【第 5 回定期考査】</p>

4. 学習計画（2）

教科	社会	科目	歴史	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『中学生の歴史』帝国書院 『資料カラー歴史』浜島書店 独自プリント					

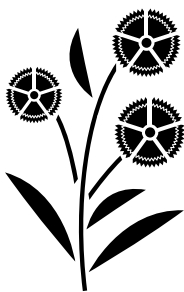
時期	単元	単元の内容
1 学期 4 月	II. 武家政治の成長と東アジア（中世） 2. 室町時代	2. 室町幕府の衰退から、応仁の乱を経て戦国時代へと移行していく過程を理解する。また、現代日本文化の原型にもなっている室町文化のあり方にも注目する。
5 月		
6 月	3. 戦国時代 【第 1 回定期考査】	3. 戦国大名登場の背景を理解し、彼らが何を目指していたかを明らかにする。
7 月	III. 武家政権の展開と世界の動き（近世） 1. 織豊政権期	1. ヨーロッパ社会との出会いについて、世界史的な背景を押さえつつ、国内に与えた影響を考察する。織田信長・豊臣秀吉によって、約 1 世紀にわたった戦国の世が克服されていく過程を概観する。
1 学期 予定時数	2. 江戸時代前期 【第 2 回定期考査】	2. 江戸幕府の成立から確立への過程を概観し、出来上がった幕藩体制の構造や、その後「鎖国」体制の目的や意義を学習する。
2 学期 9 月	3. 江戸時代中・後期	3. 江戸時代の農業・商業など諸産業の発展を学習する。また、幕藩体制に生じた矛盾への幕府の対応を、いわゆる三大改革を中心に概観しながら、幕府の衰退していく様子を考察する。また、町人を中心に花開いた元禄・化政文化や、新しい学問の形成についても理解を深める。
10 月		
11 月	【第 3 回定期考査】	
12 月	IV. 近代国家の歩みと国際社会 1. 幕末・明治維新时期	1. ペリー来航に代表される外圧が、幕藩体制の根底を揺さぶる姿を学び、そうした混乱の中で幕府滅亡にいたる過程を理解する。 新たに誕生した明治政府の特色を主要政策の学習を通して概観する。また、反政府運動としての自由民権運動の展開によって憲法発布・国会開設へといたった経緯を学習する。
2 学期 予定時数	【第 4 回定期考査】	

<p>3 学期 1 月</p>	<p>2. 明治中・後期・大正期</p>	<p>2. 日清・日露戦争、第一次世界大戦を軸に、日本の国際社会との関わり方や国際的位置づけを学習する。また、日本における産業革命や、大正デモクラシーのもとでの政党政治の展開過程を概観する。</p>
<p>2 月</p>	<p>3. 昭和（戦前）期</p>	<p>3. 日本が第二次世界大戦へと向かっていく様子を中心に、アジアへの侵略の背景にあるものや国際的孤立がもたらしたものを考える。そして、敗戦までの過程を概観する。</p>
<p>3 月 3 学期 予定時数 _____</p>	<p>IV. 現在に続く日本と世界 1. 戦後 【第 5 回定期考査】</p>	<p>1. 占領体制のもとでの民主化の歩みやその後の国際社会への復帰の過程を概観する。</p>

数 学

Syllabus

年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈学んだ考え方を使いこもう！〉

数学は、小学校までに皆さんが学んできた事柄を土台に、数の性質や図形の性質をさらに突き詰めていき、それらを様々な問題に応用しようという学問です。そのため、「なぜこのように考えるのか」「なぜこのように考えてはいけないのか」といった考え方にこだわるようになってきます。この「なぜ」へのこだわりが、算数と数学とで一番大きく違うところだといえるでしょう。

また、数学では、より一般的な方法で問題を考えていきます。ここで、『一般的な』という言葉の意味は、「特別な場合だけではなく、どのような場合でも通用するような」ということです。例えば、文字式を用いると、いろいろな数量の関係や法則を表したり、その意味を読み取ったりすることができるということを学びました。文字式を利用することの「良さ」を感じられたことでしょう。今年度も、授業で学ぶ新しい方法に積極的に向き合い、その方法の「良さ」を見つけてください。その方法が、目の前にある問題だけでなく、その他の多くの問題を解く方法でもあるのです。

今年度は、中学で学ぶべき数学の大半を学び終え、2学期には高校の内容にも入ります。もちろん新しい内容を学ぶことにはなりますが、その多くが、これまでに学んだ考え方を発展させたものであるということは、すぐに実感できるでしょう。数学は、1つの考え方を少しずつ発展させて新しい分野を生み出していくのです。例えば、今年度は1次方程式の考え方をもとに2次方程式、1次関数の考え方をもとに2次関数を学んでいきます。2次方程式や2次関数はそれぞれ唐突に出てくるものではなく、「1次から2次へ」と、これまでに学んだ考え方を発展させ、新しい理論を展開していきます。

授業を通してこの「数学の考え方」が発展していく様子を学ぶことができますので、みなさんは、学んだ「数学の考え方」を使い込んでいくことを目標にしましょう。この1年でどれだけ使い込んだか、その経験が今後の数学に取り組む上での基礎力となっていきます。

そして、やはり「考えることの楽しさ」を存分に味わいましょう。これが、数学を学習する上での一番の目標です。

2. 学習の進め方

〈予習時の疑問を授業で解決し、その日のうちに復習をして定着させる〉

数学の学習において、最低限必要で最も大切なことは、教科書の内容を十分に理解することです。教科書の内容、特に基本事項の十分な理解なくして応用力は身につけません。そこで、先につながる学習のためにも、応用力を養うためにも、次の勉強方

法を勧めます。

- ①次の授業で何を学ぶのか、事前に教科書を読んで確認しておきましょう。事前に内容を把握しているかどうかで、授業で得る知識の深さが全く違ってきます。
- ②授業に集中しましょう。そして、その中で理解できないこと、疑問に思ったことがあれば、必ずその日のうちに先生や友達に質問したりして、解決することです。
- ③その日に学習した内容を、教科書やノートで見直しましょう。このとき、特にまとめる必要はありません。まとめは、1つの単元が終わって全体が見えてきてから必要事項だけをまとめればよいです。
- ④問題集を利用して、その日に学習した内容が本当に理解できたかどうかを、答え合わせをしながらチェックしましょう。もし、答えや解き方について自分と違ったところがあれば、どうしてそのような答えになるのかを、教科書やノートを見て、自分なりに納得しましょう。
- ⑤次の日の内容を一通りのぞいておき、習ったはずなのに忘れていたことがあれば、調べておきましょう。

数学は積み重ねの学習です。以前に学習したことが定着していないと、次の授業は理解に苦しむことになります。自宅学習では、次の授業中に内容を理解できるように準備することが必要なのです。

〈問題集について〉

日々の授業の進度に合わせて、問題集に取り組み、学習したことを定着させましょう。定期考査が終わったごとに問題集ノートを提出してもらい、問題集にきちんと取り組んでいるかどうかを確認します（年5回の提出があります）。

問題集ノートは「代数」「幾何」の授業にあわせて2冊用意し、それぞれの授業の範囲の問題をそれぞれのノートに解くようにしましょう。問題を解いたら答え合わせをして、間違えた問題はどこを間違えたのか確認をして、必ずやり直しておきましょう。ノートを提出する際にはここまでやっておくようにしてください。

今年度も、「幾何」の授業において、図形にまつわる証明問題をたくさん演習することになります。証明というのは「その事柄が論理的に正しいことを他の人に分かるように説明すること」ですから、1行1行のつながりを論理的に（「なぜ成り立つのか」ということをきちんと補いながら）説明していかなければなりません。これができるようになるためには、普段から練習をしていくことが必要です。

また、問題集は一度解いたら終わりではなく、何回も解いて苦手な単元を残さないことが大切です。学年が上がるにつれて、内容が複雑になってくると、当然一度だけで身につけるのは難しくなってきます。二度、三度と繰り返し取り組んでください。

3. 学習計画（1）

教科	数 学	科 目	代 数	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	中学校数学 2（数研出版） 体系数学 2（代数編）（数研出版） 高等学校数学 I（数研出版） P Y X I S（代数編Ⅱ）（育伸社） 4 S T E P 数学 I + A（数研出版）					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	式の計算 2. 因数分解 3. 式の計算の利用	いろいろな因数分解ができるようにする 数の計算の工夫や、式の計算を利用して証明ができるようにする
5 月	平方根 1. 平方根 2. 根号を含む式の計算 【第 1 回定期考査】	平方根について理解し、数の平方根を求められるようにする 根号を含むいろいろな式の計算ができるようにする
6 月	3. 有理数と無理数 2 次方程式 1. 2 次方程式の解き方	有理数と無理数について、その性質を理解する 2 次方程式とその解き方を理解し、因数分解や解の公式を用いて解けるようにする
7 月	2. 2 次方程式の応用 関数 $y = ax^2$ 1. 関数 $y = ax^2$ 2. 関数 $y = ax^2$ のグラフ 【第 2 回定期考査】	2 次方程式やその判別式を利用して、文章題を解けるようにする 2 乗に比例する関数について理解する 関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解し、グラフがかけられるようにする
1 学期 予定時数 ——		

<p>2 学期 9 月</p> <p>3. 関数 $y = ax^2$ の値の変化</p> <p>4. 関数 $y = ax^2$ の利用</p> <p>5. いろいろな関数</p> <p>10 月</p> <p>方程式と不等式</p> <p>1. 式の計算</p> <p>2. 実数</p> <p style="text-align: center;">【第 3 回定期考査】</p>		<p>関数 $y = ax^2$ の変化の割合について理解し、求められるようにする</p> <p>放物線と座標や直線の関係を利用していろいろな問題を解けるようにする</p> <p>いくつかの関数が組み合わさった関数のグラフのかき方を理解する</p> <p>複雑な式の因数分解ができるようにする</p> <p>実数の性質について理解し、有理数と無理数の計算ができるようにする</p>
<p>11 月</p> <p>【2 次関数】 2 次関数とグラフ</p> <p>1. 関数とグラフ</p> <p>2. 2 次関数のグラフ</p> <p>12 月</p> <p>3. 2 次関数の最大と最小</p> <p>2 学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第 4 回定期考査】</p>		<p>関数の意味や関数を学習するために必要な用語を確認し、理解を深める</p> <p>2 次関数のグラフがかけられるようにする</p> <p>2 次関数の最大値と最小値が求められるようにする</p>
<p>3 学期 1 月</p> <p>4. 2 次関数の決定</p> <p>2 次不等式</p> <p>2 月</p> <p>1. 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係</p> <p>3 月</p> <p>2. 2 次不等式</p> <p>3 学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第 5 回定期考査】</p>		<p>与えられた条件から 2 次関数を求めることができるようにする</p> <p>2 次関数のグラフと x 軸の位置関係を調べ、共有点の個数を求めることができるようにする</p> <p>2 次不等式を解くことができるようにする</p>

3. 学習計画 (2)

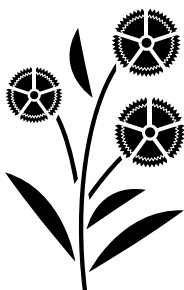
教科	数 学	科 目	幾 何	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	中学校数学 2 (数研出版) 体系数学 2 (幾何編) (数研出版) 体系数学 1 (幾何編) (数研出版) P I X Y S (幾何編 II) (育伸社) P I X Y S (幾何編 I) (育伸社)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	図形と相似 6. 相似な図形の面積比・体積比	相似な図形の面積比・体積比の関係を理解し、それらを用いて面積や体積が求められるようにする。 線分の内分点、外分点、三角形の重心の性質を理解する 三角形の面積と線分の比の関係を理解し、利用できるようにする チェバの定理を理解し、それを用いて線分の比を求められるようにする メネラウスの定理を理解し、それを用いて線分の比を求められるようにする
5 月	線分の比と計量 1. 三角形の重心 2. 線分の比と面積比 3. チェバの定理 4. メネラウスの定理 【第 1 回定期考査】	
6 月	三角形と四角形 3. 三角形の辺と角の大小	
7 月	円 1. 外接円 2. 円周角 3. 円に内接する四角形 4. 円の接線	
1 学期 予定時数 _____	【第 2 回定期考査】	

<p>2 学期 9 月</p> <p>5. 接線と弦のつくる角</p> <p>6. 方べきの定理</p> <p>7. 2つの円</p> <p>10 月</p> <p>三平方の定理 1. 三平方の定理</p> <p style="text-align: center;">【第3回定期考査】</p> <p>11 月</p> <p>2. 三平方の定理と平面図形</p> <p>空間図形</p> <p>12 月</p> <p>1. いろいろな立体</p> <p>2. 空間内の平面と直線</p> <p>2 学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第4回定期考査】</p>	<p>接弦定理を利用して角の大きさを求められるようにする</p> <p>方べきの定理を利用して線分の長さを求められるようにする</p> <p>2つの円の位置関係と共通接線の性質を理解する</p> <p>三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求められるようにする</p> <p>三平方の定理を利用して、座標平面上の2点間の距離や円の弦の長さが求められるようにする</p> <p>正多面体の種類とその基本的な性質について、三平方の定理を利用しながら理解する</p> <p>空間における平面と直線の位置関係、2直線の位置関係を三平方の定理を利用しながら理解する</p>
<p>3 学期 1 月</p> <p>2 月</p> <p>3 月</p> <p>3 学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>	<p>3. 立体のいろいろな見方</p> <p>4. 立体の体積と表面積</p> <p>5. 三平方の定理と空間図形</p> <p>立体の切断面や投影図、展開図を理解し、読み取れるようにする</p> <p>いろいろな立体の体積と表面積を求められるようにする</p> <p>三平方の定理を利用してさまざまな空間図形の問題が解けるようにする</p>

理 科

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

理科では、私たちの身の回りの自然の物事・現象がどのようになっているのか、どのような法則に基づいているのかについて知ることが目標です。自然現象についての理解を深めるためには、まず身の回りの自然の物事・現象に興味を持ち、意欲的にそれらに接する必要があります。そのため、教科書に書いてあることをただ読んだり覚えたりするだけではなく、実験や観察などの「実体験」を大切にしましょう。目的意識を持って実験や観察を行うことで、身の回りの自然現象を実証的にまた論理的に考える力が身につき、また客観性のある、科学的な分析をする力もが養われます。そのための前提として、観察・実験の基本操作と習得はもちろんのこと、それらの過程や結果のまとめ方、結論の導き方や表現の仕方も学習します。さらに、基本的な概念や原理・法則の理解、基本的な知識の定着も図ります。

2. 6力年の学習の内容

身近な自然現象に興味を持ち、知識・観察力を活用して、ものごとを科学的に思考できる人間の育成を目指しています。そのため中学から実験・実習を数多く取り入れ、「実体験」から得られる情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくよう指導しています。実験にはレポートの作成を課しており、論理的に表現する力を養うとともに、大学入試の論述問題対策にもなっています。さらに、進歩の著しい自然科学の分野で重要かつ基礎的な知識をより効率的に深く学習するため、中学・高校の内容を整理・統合し、中学では必要に応じて高校の内容を取り入れて授業を進めます。高1までに理科の基本を一通り学習した後、高2以降は各自の進路目標の達成に向けて、より発展的な学習につなげていきます。実験の内容もより専門的になり、大学入試問題を解く力に加えて、自然科学を探究する姿勢を養っていきます。

〈中2〉

〔1分野〕

1学期前半は「力の世界」を学習します。力の表し方を学び、一直線上に複数の力が働き静止している物体に対して「力のつりあいの式」を立式する方法を学習します。この内容は、高校物理で学習する「力学」の基礎となる、極めて重要な内容です。力のつりあいの式から、未知の力の大きさ求める手順について演習を重ねていきます。

1学期後半から2学期前半は「電気の世界」を学びます。電流と電圧、オームの法則、電流による発熱、電磁誘導について学び、簡単な回路において諸量を求める演習を行います。

2学期後半から3学期は「化学変化と原子・分子」を、必要に応じて高校の内容を

取り入れながら発展的に学びます。また、中1で基本操作を習得したガスバーナーや電子天秤などの装置を用いて、多くの実験を行い、実験における安全性についても学びます。実験結果の記録方法、結果のまとめ方、表やグラフの書き方などを復習しつつ、客観的・論理的な表現方法を身につけます。

〔2分野〕

「天気とその変化」「動物の生活と生物の変遷」「地球と宇宙」を学習します。中1と同様に多くの実験・実習を行いますので、これまでに身につけた基本技術を活用することになります。また、解剖実験を通じて、動物のからだのつくりに対する理解を深めます。気象や天体の分野では、観測やモデル実験を通して、身近な自然現象が起こる仕組みを理解します。

3. 学習の進め方

身近な物質や現象に目を向けて、主体的に授業に参加してください。そうすることで「何故だろう」、「どうしてなんだろう」というような疑問に気づくことができ、基本的な知識を覚えるだけでなく、考え方を理解したり興味を広げたりすることができます。また、口頭での説明なども大切なことはノートに書き取りましょう。

〔1分野〕

実験・実習に積極的に取り組みましょう。1カ月に1、2回のペースで実験を行います。多くの「実体験」から得られる情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から化学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくように、実験レポートの作成に力を注ぎましょう。

また、中2での学習内容は中1と比べると計算力も必要になってきます。そこで、テキストや問題集の演習問題を繰り返し解くための演習ノートを作成しましょう。答えだけでなく、考え方や計算式を書くことで、間違えた場合はどこで間違えたのかがわかります。自分で作り上げた演習ノートは、自分だけの参考書になるはずです。

〔2分野〕

1分野と同様、1カ月に1、2回のペースで実験を行います。解剖などの大きな実験の前には、十分に時間をかけて実験の目的、手順を説明します。それらをよく理解したうえで実際の実験に臨みましょう。実験後には、結果や考察を中心に実験レポートを作成します。この過程を通じて、中1で身につけたスケッチや表作成の技術を、一層発展させていきます。自宅学習では、授業で学んだことを定着させるために、学校で配布されている問題集を解きましょう。問題を解くだけでなく、授業でとったノートや教科書、資料集を読み直し、自分でまとめることで理解が深まります。

4. 学習計画（1）

教科	理科	科目	1分野	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新しい科学1』『新しい科学2』東京書籍 『グラフィック理科資料集』新学社 『中学の理科 第1分野 物理・化学』教育開発出版 『中2理科1分野独自作成テキスト』					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月 6・7月 1学期 予定時数 _____	「力の世界」 力のはたらきと種類 力のつりあい 力のつりあいの式（1次元） 【第1回定期考査】 「電気の世界」 電流・電圧とのはたらき 電流・電圧と回路 電流と電圧（オームの法則） 【第2回定期考査】	力の表し方を学び、さまざまな物体間にはたらく力を正しく把握できるようにする。1直線上に複数の力がはたらき、静止している物体に対して「力のつりあいの式」を立式し、未知の力の大きさを求められるようにする。また、いろいろな回路の電流・電圧を測定し、電流の基本的な性質を学ぶ。 [実験] 電流計の使い方 [実験] 電流の測定（直列・並列） [実験] 電圧計の使い方 [実験] 電圧の測定（直列・並列） [実験] オームの法則
2学期 9・10月 11・12月 2学期 予定時数 _____	電流による発熱（ジュールの法則） 電流と磁界（電磁誘導） 【第3回定期考査】 「化学変化と原子・分子」 物質の化学変化 化学変化と原子分子 【第4回定期考査】	電流と発熱量、磁界の関係について学ぶ。 [実験] 電流による発熱 [実験] 電流がつくる磁界 [実験] 磁界から電流が受ける力 [実験] 電磁誘導 いろいろな化学変化、身近な化学変化から、化学変化の仕組みを考え、原子・分子の存在を学ぶ。 [実験] スチールウールの燃焼 [実験] 物質の燃焼 [実験] 鉄と硫黄の化合 [実験] 炭酸水素ナトリウムの加熱分解
3学期 1月 2・3月 3学期 予定時数 _____	物質のつくり 化学変化と化学反応式 【第5回定期考査】	物質のつくりについて学び、化学の基本法則を理解する。また、様々な化学変化を化学反応式で表せるようにする。 [実験] 水の電気分解 [実験] 質量保存の法則 [実験] 定比例の法則

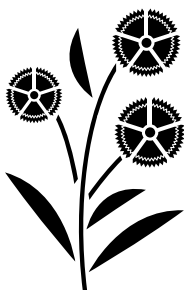
4. 学習計画 (2)

教科	理科	科目	2分野	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新しい科学2』『新しい科学3』東京書籍 『グラフィック理科資料集』新学社 『中学の理科 第2分野 物理・地学』教育開発出版					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6・7月 1学期 予定時数 _____	「天気とその変化」 気象の観測 水蒸気の変化、雲のでき方 水の循環、気圧と風 気団と前線 前線の通過と天気の変化 日本の天気の特徴 【第1回定期考査】 「動物の生活と生物の変遷」 細胞のつくり 単細胞生物と多細胞生物 消化と吸収 【第2回定期考査】	天気の変化がどのようにして起こるのかを学習する。またどのようにして天気の変化を予測するのかを気象観測や実験を通して学習する。 [実習] 温帯低気圧のペーパークラフトの作成 [実習] 1日の太陽の動き (夏) 動物のからだのつくりと働き、動物の分類と進化について学習する。 [実験] 唾液のはたらき
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	呼吸、血液と心臓 腎臓・肝臓 感覚器 (眼・耳・鼻・舌・皮膚) 脳・神経 (脳・脊髄) 【第3回定期考査】 骨と筋肉 動物の分類 動物の進化 【第4回定期考査】	[演示実験] 呼吸器官の模型で呼吸運動を理解する。 [実験] ニワトリの心臓の解剖 [実験] ブタの眼の解剖 [実験] ニワトリの前肢の解剖 [実験] スルメイカの解剖
3学期 1月 2・3月 3学期 予定時数 _____	「地球と宇宙」 銀河系と太陽系 太陽、太陽系の天体 地球の自転と天体の動き 地球の公転と星座の移り変わり 季節の変化 月の満ち欠け、日食と月食 惑星の見え方 【第5回定期考査】	天体を観測し、宇宙のしくみを学ぶ。 [実験] 1日の太陽の動き (冬) [実験] 月の満ち欠けの観測

英 語

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①英語の4技能「読む・書く・聴く・話す」を総合的に身につける。
- ②国際語としての英語を通じて、コミュニケーション能力の基礎を身につける。
- ③中学では日常的な事柄について英語で意思疎通ができるようになる。
- ④高校では時事問題・国際問題・その他のやや専門的な話題についても、4技能を駆使して、国際社会で英語を使って活躍できる高度な英語力を身につける。
- ⑤難関大学の入試に十分対応できる英語力を身につける。
- ⑥各学年の具体的な目標

以下のそれぞれの項目について理解し、さらに表現・説明をすることを目標とする。

<中1> ・身のまわりの人や物に関しての、現在・進行中・過去のできごと

・200～300語程度の会話文やエッセイへの内容理解と要旨説明

<中2> ・時間的關係や理由、目的、条件をふまえた過去、現在、未来のできごと

・ものの特徴の比較や違い

・400～500語程度の異文化や環境問題に関する文章への理解と意見の発信

<中3> ・過去に視点をおいた活動や状況

・様々なパターンを用いての物や人物に関する説明

・600～700語程度の社会、文化、科学などの分野に関する論説文やエッセイ、物語などへの内容理解と要旨説明

・関連トピックについて調べた内容のグループや個人での発表

2. 6力年の学習の内容

初めて英語を本格的に学習する中1では、音声面を大切に、英語の耳を育てる音声・発音指導から始まり、基礎を丁寧に学ぶことから取り組みます。

中1から中3の前半では中高一貫校用教材 New Treasure シリーズを、中3の後半からは高1用検定教科書 Landmark シリーズを使用して、文法、語彙、読解、作文の力を段階を追って伸ばします。表現力を養うためにスピーチ作成や発表も行います。英語らしい表現に日々触れながら会話力やリスニング力を向上させるため、NHK ラジオ講座『基礎英語』シリーズを聞きます。

吉祥では日々の学習の積み重ねを大切にしていますが、そうして培った英語力を校内の定期考査だけでなく外部試験でも証明するために、英語検定や中2から校内で受験する GTEC に関して、自分の具体的な目標を掲げ、また試験後は各自の結果の活用をするように奨励しています。

高校では中学で身につけた基礎力をもとに、「コミュニケーション英語」、「英語表

現」の授業において、さらに4技能をバランス良く向上させるための授業を展開します。中学3年間を通じて多くの教科での学習を通じて得た人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い知識や興味を生かし、専門的な文章を読み、意見を記し、発表し合っていくことを目標に学習します。高校2年生の後半からは本格的な入試問題対策も始まり、各自の目標とする進路達成のために高度な英語力を身につけます。

3. 学習の進め方

① 授業

中1・中2は、週に「英語」を5時間と「英会話」を1時間、中3では「英語」を5時間と「英会話」を2時間の授業を行います。小テストも頻繁に行い、学習内容の定着を目指します。「英語」では4技能を関連づけて総合的に身につける学習を、「英会話」ではクラスを2分割した少人数授業で「聴く・話す」をより重視した学習をすすめます。中1・中2はネイティブ教師、中3は日本人教師とネイティブ教師が担当します。

② 補習

中学では全学年で基礎力の定着をはかるため補習(無料)を行っています。定期考査の成績による指名制です。学期中は週に1回、学期末には1回の補習が行われます。

③ 自宅学習

予習・復習を重視しています。予習を前提として授業は進められ、学力の定着に復習は不可欠となります。復習として中学では音読練習・書取練習・ワークブックや問題集によるドリル練習が課されます。確かな自宅学習の取り組みが必要となります。

④ NHKラジオ講座

中学では「基礎英語1～3」を必須とし、テキストを教材として購入してもらいます。小テストや定期考査で確認テストをします。

⑤ 辞書指導

中学のテキストには巻末に語彙リストがついており、中学入学時は、まだ辞書を購入する必要がありません。辞書指導は中1の2学期に授業内で行われます。意味のみならず、発音、品詞、用例など、様々な用途で辞書を使いこなすための基本を学びます。その頃に合わせて、高校まで使える紙の辞書を購入することをお勧めします。

〈その他の英語科での取り組みについて〉

① 英検・GTEC

英語の外部検定試験を積極的に受けましょう。

授業を通じて伸ばした英語力を外部の試験により証明することはとても大切です。吉祥では、全員が高校3年生に進級する前までに英検2級、あるいはそれ以上の級を取得することを目標にしています。各学年での目標は以下の通りです。

- ・ 4級（中学2年程度）：中1の3学期までに
- ・ 3級（中学卒業程度）：中2の3学期までに
- ・ 準2級（高校2年程度）：高1の3学期までに
- ・ 2級（高校卒業程度）：高2の3学期までに

校内では1月に英検3級（中1・中2対象）、英検2級（中3～高2対象）のそれぞれ一次試験を行います。9月には、中2から高1の全員が校内でGTECを受検します。英検やGTEC、TOEIC等の試験結果は大学試験の際にも自らの英語力の証明として今後益々重要になります。

② リーディング・マラソン

英語の読解力を高めるために図書館と連携して英語の本を積極的に読むことを勧めています。

図書館には英語の本が約2000冊あります。読んだページ数に応じて記録用紙にスタンプを押していきます。各到達目標は次の通りです。

クォーター：300 ページ ハーフ：600 ページ フル：1200 ページ

目標達成者には全員に Certificate（認定証）を発行します。

各学年の最多達成者には Reader of the Year Award（チャンピオン賞）も授与されます。

③ 国際交流

中3で、希望者対象のカナダ語学体験ツアーがあります。毎年ほぼ全員が参加します。姉妹校QMSを訪問し、交流活動を行い、ホームステイ体験をします。

④ その他

中学3年間で、「英語」・「英会話」において最も優秀な成果を修めた1名に、中学卒業式にてカナダの姉妹校より「QMS英語賞」が授与されます。

4. 学習計画

教科	英語	科目	英語 英会話	週あたりの 授業時数	英語 5時間 英会話 1時間	担当
使用教材	『New Treasure 1・2 (Second Edition)』 テキスト・CD・文法問題集 以上 Z会出版 『NHK 基礎英語2』NHK 出版 英会話プリント用ファイル					

●英語について

- ・「英語」は日本人教師が担当する。
- ・各レッスン、Key Points の暗唱書き取りテストなどを行う。
- ・各レッスン終了時にレッスンテスト（リスニングを含む）を行う。
- ・基礎英語は日本人教師の授業の中で適宜確認テストを行う。
- ・語彙総復習テストを適宜行う。
- ・学期中および長期休暇中に、文法問題集を使用する。
- ・授業で扱わない部分は、長期休暇中の課題となる。

●英会話について

- ・「英会話」はクラスを2つに分け、少人数グループをネイティブ教師が担当する。
- ・「英会話」の学習計画は、英語の学習計画に準じる。
- ・「英会話」では主にテキストのCommunicationと発音部分を扱う。
- ・「英会話」では、毎回の発表と学期末の面接テストにより評価される。

●成績は、「英語」・「英会話」別々の科目として評価される。

【英語】

時期		単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	NT2 L12	助動詞 未来を表す表現 will 許可を与える表現 依頼する表現 can may 義務・推量を表す表現 must	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の予定について表現／理解することができる ・相手への依頼や許可を表現／理解することができる ・義務や禁止を表現／理解することができる
5 月		L13	There is [are] ～ 数や量の多少の表現 many / few / much / little 物質名詞の単位
6 月		スピーチガイダンス スピーチ発表	スピーチを作成する。 クラスで発表する。
【第 1 回定期考査】			
7 月	L14	比較 (原級・比較級・最上級)	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの物や人を比べて、性質や状態の程度が同じくらいである、またはいずれかの方が程度が高いことを表現／理解することができる ・3つ以上の物や人のなかの1つが、性質や状態の程度が最も高いことを表現／理解することができる
1 学期 予定時数	NT2 L1	Shall I…? / Shall we…? など have to 文の構造 (SV/SVC/SVO)	<ul style="list-style-type: none"> ・申し出や依頼、提案・勧誘を表現 / 理解することができる。 ・しなければならぬこと / しなくてもよいことについて表現 / 理解することができる ・五感で受け取った印象について表現 / 理解することができる
【第 2 回定期考査】			
2 学期 9 月	NT2 L2	不定詞の名詞的・副詞的・ 形容詞的用法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の目的について表現 / 理解することができる ・物の使いみちについて表現 / 理解することができる
10 月	L3	命令文, and/or… 時を表す接続詞 接続詞 if 理由・譲歩を表す接続詞	<ul style="list-style-type: none"> ・あることがらについて、時間的關係や理由、条件を添えて表現 / 理解することができる
【第 3 回定期考査】			

11月	L4	接続詞 that 文の構造 (SVOO/SVOC)	<ul style="list-style-type: none"> ・知っていることや聞いたことについて表現 / 理解することができる ・意見や感想を表現 / 理解することができる・誰かにしてもらったことや、誰かにしてあげたことについて表現 / 理解することができる
12月			
2学期 予定時数	L5	動名詞 (主語・補語・目的語) 不定詞と動名詞 動名詞の慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味のあること、仕事の内容を表現 / 理解することができる
【第4回定期考査】			
3学期 1月	L6	現在完了 (完了 / 結果・経験・継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・過去にしたことや過去の状態を、現在と結びつけて表現 / 理解することができる。
	L7	受動態 by 以外の前置詞 SVOO/SVOC の受動態	<ul style="list-style-type: none"> ・動作を受ける側に焦点を当て、動作や状態を表現、理解することができる ・感情を表現 / 理解することができる
2月	Further Reading ① (速読活動)		<ul style="list-style-type: none"> ・アボリジニの楽器であるディジュリドゥの歴史や作り方、演奏方法について理解し、説明することができる ・異文化に対する積極的な興味を示すことができる
3月	L8 * Grammar のみ	名詞の種類 不定代名詞 再帰代名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・形のないものの数量を表現 / 理解することができる ・自分自身に対して行うことについて表現 / 理解することができる
3学期 予定時数	【第5回定期考査】		

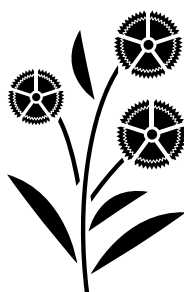
【英会話】

時期	単 元	内 容	実施	
1 学期 4 月	Lesson 1	Comparison Invitations, Exercise		
	Lesson 2	Likes, Shopping, Exercise		
	5 月	Lesson 3	Future Jobs Travel	
		Lesson 4	I have to ____ . What do you have to do at ____ ? Asking for things	
	7 月	Review	Review for final test, Practice	
		Test	Test in pairs	
	1 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	
2 学期 9 月	Lesson 5	Summer Vacation Using the phone		
	Lesson 6	At the dinner table		
	10 月	Lesson 7	Past Experiences Have you ever ____ ? How long ____ ? Sickness	
		Lesson 8	Opinions More opinions	
	12 月	Review	Review for final practice test	
		Test	Test in pairs	
	2 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	
3 学期 1 月	Lesson 9	Expressing interest, Getting around by train		
	2 月	Lesson 10	Tomorrow's weather, Exercises	
	3 月	Lesson 11	At a restaurant, At a shop	
		Test	Test in pairs	
	3 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	

保健体育

Syllabus

年間学習計画



国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈体育〉

社会に貢献するためには積極性と協調性が必要です。また良好なライフワークバランスが求められる現代、余暇を充実させるためにスポーツの役割はこれまで以上に大切になってきています。体育ではスポーツに自ら積極的に取り組むことにより、楽しみながら基礎体力を養い、他者と協力していく力を養います。このため各種目は生涯スポーツを見据えたものになっています。

2. 学習の内容

〈体育〉

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年次	吉祥体操・基礎運動・水泳	ネットボール・水泳	卓球
2 年次	マット運動・ダンス・水泳	フットサル・ダンス・水泳	ラグビー・剣道
3 年次	バスケットボール・水泳	バドミントン・水泳	バレーボール

3. 学習の進め方

〈体育〉

- ・中2の2時間は各学期ごとの種目を行い、残り1時間の1・2学期はダンス、3学期は剣道を行います。
- ・6月上旬から9月中旬まで水泳を実施します。基礎的な泳法を中心に練習し、各自の泳力に合わせて検定を行います。
- ・1学期末は球技大会の練習を、2学期の始めは運動会の練習を水泳と並行して行います。

4. 学習計画（1）

教 科	保健体育	科 目	体 育	週あたりの授業時数	1 時間	担当
使用教材						

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	オリエンテーション 基礎運動 ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容の説明 ・ 基本姿勢の確認 ・ 基本ステップの練習 ・ 通し練習・総合練習
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	運動会の練習 ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種目練習 ・ 創作ダンスの説明 ・ グループ創作 ・ グループ練習 ・ 発表会 ・ 鑑賞会
3 学期 1 月 2 月 3 月 3 学期 予定時数 _____	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木刀による剣道基本技稽古法 ・ 礼法 ・ 仕かけ技 ・ 応じ技 ・ 発表会

4. 学習計画（2）

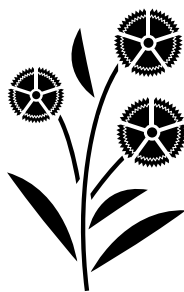
教 科	保健体育	科 目	体 育	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材						

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6・7 月 1 学期 予定時数 _____	オリエンテーション 基礎運動 マット運動 水泳 球技大会の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容の説明 ・ 集団行動 ・ ストレッチ及び筋力トレーニング ・ 前転・後転 ・ 倒立 ・ 開脚前転・開脚後転 ・ 伸膝後転 ・ 倒立前転 ・ 連続技 ・ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ ・ ドッジボール・バスケットボール・卓球
2 学期 9 月 10 月 11・12 月 2 学期 予定時数 _____	水泳 運動会練習 フットサル	<ul style="list-style-type: none"> ・ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ ・ 各種目練習 ・ ボールコントロール ・ パス・ドリブル・シュート ・ チームプレイ ・ 班対抗ゲーム
3 学期 1 月 2・3 月 3 学期 予定時数 _____	タグラグビー	<ul style="list-style-type: none"> ・ パス・キャッチ ・ ランニング・ステップ ・ ミニゲーム ・ 班対抗ゲーム

音 楽

Syllabus

年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①音楽活動に、自らの心を開いて主体的に取り組むことによって、豊かな情操を養う。
- ②音楽に対する愛好心や、素晴らしいものに触れたとき、素直に感動できる豊かな感性を身につける。
- ③合唱および合奏など、集団で音楽を作り上げていく体験を通して、一個人としての自分、また集団の中における自分の役割を自覚し、より豊かなハーモニーづくりに貢献する姿勢を学び、社会性を身につける。

2. 学習の内容

各分野において、中1では基本をしっかりと学び、学年が上がるごと、より専門的な内容へと発展させていきます。

3. 学習の進め方

① 授業

[歌唱] 中1は基本的な発声を学び、校歌をはじめとする日本語のうたを取り上げ歌います。中2は一人ひとりの変声を考慮しつつ、日本の代表的な歌曲を取り上げ、詩の解釈や曲の情景を考えて歌うようにします。中3は身体の成長に伴って、本格的な声が出るようになるので、イタリア歌曲を中心に歌い、声楽の世界を体感します。

[鑑賞] 中1は音楽史に沿って各時代の名曲を取り上げ、音楽の構造や、時代背景・風土・文化・歴史を理解し、より身近に音楽を感じる愛好心を身につけます。中2・中3は器楽および歌唱で扱っている曲を、より明確に理解できる鑑賞内容を取り上げます。中1では邦楽の演奏家を招き、息遣いの感じられる距離で、生の演奏を聴くことで、音楽をより身近に体感します。

[器楽] 中1はヴァイオリンを扱い、初心者を対象とした授業です。楽器に触れることから始め、扱い方、楽器の構造、歴史的背景など、弾くだけでなく総合的に楽器について学びます。中2は基本奏法の定着を図るとともに、ヴィオラやチェロを導入して弦楽合奏につなげます。

② 補習

希望者のみ。実技試験1ヵ月前から、第2音楽室を昼休みに開放します。

◆ 進路にむけて ◆

音楽大学などを志望する生徒は、高校2年から音楽に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めて行くことができます。

4. 学習計画（1）

教科	音楽	科目	歌唱・鑑賞	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『中学生の音楽1』教育芸術社 『中学生の音楽2・3上』教育芸術社 『中学生の音楽2・3下』教育芸術社					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション（クラス全員） 正しい発声について 「校歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の説明 ・姿勢・口の開け方・呼吸法などの基本的な知識
5月	「浜辺の歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の解釈・朗読 ・ピアノ伴奏の表現や役割を考える。
6・7月	「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の解釈・朗読 ・移調して歌う。
	【実技試験】	・授業で取り上げた曲から1曲暗譜で歌う。
2学期 9月	イタリア語に挑戦 「サンタルチア」	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア語の発音を覚える。 ・原語の持つメロディーの美しさや、特有のリズム感を味わう。 ・正しい発声と発音 ・全身を使って歌う。
2学期 予定時数 _____	【実技試験】	・「サンタルチア」を暗譜で歌う。
3学期 1月	合唱コンクールの練習	<ul style="list-style-type: none"> ・日本民謡やわらべうた等を題材とした女声3部のア・カペラに編曲したオリジナルの曲を使用する。 ・パートリーダー・指揮者決め
2・3月	合唱コンクールの練習	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の仕上げ ・ステージマナーを学ぶ ・合唱コンクール課題曲を女声3部で歌う。 ・中3以降の授業について
3学期 予定時数 _____	【実技試験】	

4. 学習計画（2）

教 科	音 楽	科 目	器 楽	週あたりの授業時数	1 時間	担当
使用教材	独自プリント					

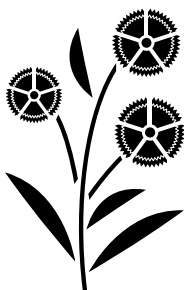
時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	オリエンテーション（クラス全員） 中学 1 年次の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容の説明 ・ 基本事項の確認 ・ ボーイングの練習 ・ 「きらきら星」の練習
5 月	ヴィヴァルディ「四季」より春 ① 左手の 4 の指を使う	<ul style="list-style-type: none"> ・ イ長調の音階練習 ・ 4 の指の導入 ・ リズムや演奏記号を理解する。
6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	ヴィヴァルディ「四季」より春 ② 【実技試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜に指定されたボーイングを用いて演奏する。 ・ 曲の流れを考えて演奏する。 ・ 2 人 1 組で実技試験（別室にて実施）
2 学期 9 月	ドイツ民謡「鍛冶屋の槌音」	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハ長調の音階 ・ ひと弓で 2 つの音を弾く ・ ド（C）を正しく鳴らす ・ 開放弦か 4 の指をつかうかのどちらかを選択する。
12 月 2 学期 予定時数 _____	【実技試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 人で実技試験（別室にて実施）

<p>3学期 1月</p>	<p>合唱コンクールの練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本民謡やわらべうた等を題材とした女声3部のア・カペラに編曲したオリジナルの曲を使用する。 ・パートリーダー・指揮者決め
<p>2・3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>合唱コンクールの練習</p> <p style="text-align: center;">【実技試験】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の仕上げ ・ステージマナーを学ぶ ・合唱コンクール課題曲を女声3部で歌う。 ・中3以降の授業について

美 術

Syllabus

年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①人物や風景などの対象物をよく観察して正確に描く能力や、イメージしたものを平面や立体作品として完成させる表現能力を培う。
- ②アイデアを膨らませて、ひとつの形へとまとめ完成させる、デザインの能力を培う。
- ③創意と工夫によって日常で使用できる工芸作品を、自らの手で造形する能力を培う。
- ④美術やデザイン作品に興味をもち、それらを尊重し大切にする精神と鑑賞力を養う。

2. 学習の内容

中学の美術では、様々な分野に亘って基礎的な学習を行います。吉祥オリジナルな教材を扱うため、年度により扱う内容に変化があります。従って、このシラバスに取り上げている内容も参考の一例と考えて下さい。

実際の内容は年度最初の授業時に「年間カリキュラム」が配布され、担当教員より詳しい解説があります。この数年間で取り上げた内容を参考に記すと、中1では「詩を絵にする」「創作熟語による文字デザイン」「木彫手鏡」「モザイク」「自画像と私の生活」「自然の贈り物細密画」「ユーモアパッケージのイラストレーション」。中2では「陶芸 花器」「陶芸 好きな器」「動物の塑像」「理想のお弁当塑像」「創作切手細密画」「メタモルフォーゼによる自画像」「立体慣用句人間」。中3では「絵本」「四面絵画」「蔵書票」「多色版画」「版画カナダツアーの思い出」「版画中学校生活の思い出」などがあります。

3. 学習の進め方

① 授業

授業ごとにカリキュラムの内容に関わる資料と制作日程のプリントを配布し、制作の目標を明確にして授業を展開します。また生徒一人一人に細かなアドバイスをしながら全体的にレベルアップしていきます。

② 補習

欠席などで制作が遅れ気味な生徒への指導は、放課後を利用して積極的に行います。

③ 鑑賞

校内展示を随時行うとともに、展覧会や展示会の紹介を通じて、作品を鑑賞する力を身につけます。

◆ 進路にむけて ◆

美術大学などを志望する生徒は、高校2年から美術に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めていくことができます。

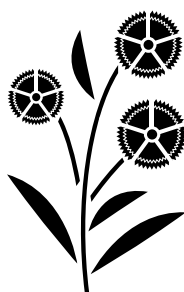
4. 学習計画

教科	美術	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『美術2・3上』光村図書			

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6月 7月 1学期 予定時数 _____	絵画（コラージュなど） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・年間カリキュラムの説明 ・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	立体彫塑（二言動物など） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
3学期 1月 2月 3学期 予定時数 _____	絵画（メタモルフォーゼによる自画像など） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）

技術・家庭

Syllabus 年間学習計画



国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

1. 学習の目標

衣食住などに関して、実習を中心に学習内容を定着させ、日常生活で実践できる力を養う。また、消費生活に関する契約トラブルや、環境問題への自分自身の取り組みを話し合うなど、身近な問題として考える。

2. 学習の内容

〈中1〉

1・3学期は家庭分野、2学期は技術分野を学習します。1学期は、食生活について学習し、自分の食習慣を見直し、中学生に必要な食の知識を身につけ、調理実習も行います。2・3学期は、ものづくりを通して、生活と技術の関わりについて考えます。2学期は木材の性質や種類について学び、さらに木製品を製作し、生活に役立てます。3学期は身近な手芸を衣文化の観点から見直し、かぎ針編みの基本技術を習得し、作品製作を行います。

〈中2〉

被服製作実習、調理実習を通して、衣・食に関する基本技術の習得を目指します。また、健康で安全な生活をするために、1年次に学習した内容を発展させ、基本的な衣・食の知識を身につけます。

〈中3〉

衣・食について1・2年次に学習した内容を発展させ、生活に関わる問題について学習し、知識を深めます。また、消費者の視点で環境問題をとらえ、消費者として何ができるか考え実践します。

3. 学習の進め方

① 授業

講義や実習などを通じて、知識と技術を身につけます。新聞記事やテレビのニュースなどを必要に応じて取り上げ、身近な問題として学習する機会を設けます。

② 補習

編み物実習、木材加工実習、被服実習で作業が遅れている生徒を対象に放課後、補習を実施します。

4. 学習計画

教 科	技術・家庭	週あたりの時間数	2時間	担当
使用教材	「技術・家庭」技術分野、家庭分野 開隆堂			

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	衣生活 1. 被服の起源 2. 被服の役割 3. 気候風土と被服 4. ミシンのしくみ、使い方 5. 被服製作 【第 2 回定期考査】	私たちにとって身近な被服の起源や気候風土との関わり、役割について理解する。 ミシンの使用目的と各部のはたらきを理解して、ミシンによる縫製技術を習得し、人体を覆う衣服を製作する。必要に応じて手縫いも行い、用具を適切に用いる。
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	6. 被服の構成と形 7. 日本における被服の歴史 8. ズボンの歴史 【第 3 回定期考査】 食生活 1. 健康と食生活 2. 栄養素の種類とはたらき 3. 食品と栄養素 4. 中学生の発育の特徴 5. 食事摂取基準 6. 食品群別摂取量のめやす 7. 調理実習（3回） 【第 4 回定期考査】	世界で着用されている被服の分類を知り、日本に洋服やズボンが普及するまでの服飾史を知る。 毎日の食事内容や自分の食習慣を点検し、健康的な食生活の実現を目指す。 栄養素について学習し、栄養と食べ物と健康の関係を理解する。 中学生は一日に何をどれだけ食べればよいかを知り、実践できる力を養う。
3 学期 1 月 2 月 3 月 3 学期 予定時数 _____	7. 食品の性質と調理 8. 調理実習（2回） 9. 食事の栄養バランスの点検 10. 一日の食事の栄養バランスの整え方 【第 5 回定期考査】	調理実習をとおして、食品の調理上の性質を理解し、調理技術の基本を習得する。実習内容を朝食、昼食と考え、栄養バランスを点検し、さらに夕食の献立を考えて、一日の栄養バランスの整え方を考える。

(参考)
 (2020年度入学生高等学校教育課程表)

教科	学年 科目	1 年				2 年				3 年			
		共通	文系	芸術系	理系	文系		芸術系	理系	自由選択			
						国公立	私立						
国語	国語総合	5											
	現代文B		3	3	2	3	4	3	2	②			
	古典B		3	3	2	3	4	3	2	②			
地歴	国語演習												
	世界史A	2											
	世界史概説		※②										
	世界史B		③			⑤	⑤			④			
	日本史A		②			⑤	⑤						
	日本史B		③			⑤	⑤			④			
	地理A		②	2	2					②			
	地理B									④			
公民	世界史B A A史						③						
	日本史B 近世史						③						
数学	倫理		2	2	2					②			
	政治・経済	2								②			
	数学I	3											
	数学II		3		4								
	数学III								④	②			
	数学A	3											
	数学B		3		2								
	数学II演習					③				④			
共通テスト数学II					③								
数学B演習					③				③				
共通テスト数学B					③								
数学演習									③				
理科	物理基礎	2											
	物理				③					④			
	化学基礎	2	1										
	化学基礎演習					1							
	化学基礎				4				4				
	生物基礎	2	1										
生物基礎演習					1								
生物				③					④				
保健	体育	2	2	2	2	3	3	3	3				
	保健	2											
芸術	音楽I	②											
	美術I	②											
	音楽II			④									
	美術II			④									
	音楽III							④					
	美術III							④					
	音楽専門			⑦				⑦					
	美術専門			⑥				⑥					
美術・デザイン史			①				①						
ソルフェージュ									②				
美術									④				
外国語	コミュニケーション英語I	4											
	コミュニケーション英語II		4	4	4								
	コミュニケーション英語III					4	4	4	4	②			
	英語表現I	2											
英語表現II		2	2	2	3	3	3	3					
私文総合英語演習						3							
家庭	家庭基礎		2	2	2								
情報	社会と情報		2	2	2								
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	1	1	1				
合計		34	34	34	34	30	30	28	30	0~6			
特別活動		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				

※2・3年次文系生徒の地歴選択世界史・日本史・地理のうち2科目履修します。2年次に3単位履修した科目を3年次に国公立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修します。2年次に2単位履修したA科目は、必要に応じ、3年次に同一B科目を自由選択科目(4単位)で履修します。
 *教育課程表の数字は、各科目の単位数をあらわしています。例えば1年次の国語総合の5は5単位のことで、1週あたり5時間の授業があり、1年間履修して認定されれば5単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得する必要があります。
 *○印は選択科目です。
 *教育課程は変更することがあります。
 *「総合的な探究の時間」は年間を通して週1時間相当の時数分を行います。

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町 4-12-20

☎ 0422(22)8117

中学 2 年 組 番 氏 名
